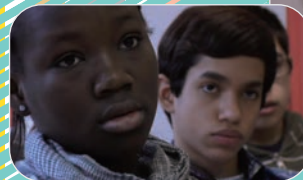
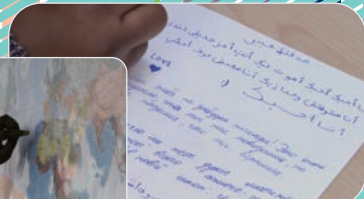
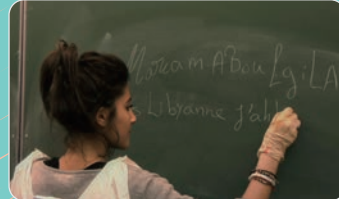


ある教師の人生最後のクラスにそれぞれの事情をかかえて集まった国籍がバラバラの生徒たち…。出会い、そして別れ。 国境を超えた友情に心温まるドキュメンタリー



『バベルの学校』は、フランスにやってきたアイルランド、セネガル、ブラジル、モロッコ、中国など、世界中の20か国の国籍をもつ11歳から15歳の24人の子どもたちが、1年間にわたってパリ市内にある中学校の適応クラスで一緒に過ごす様子を収めたドキュメンタリーです。

世界の縮図のような多文化学級で、フランスで新生活を始めたばかりの彼らが見せてくれる無邪気さ、熱意、そして悩み。宗教の違いや国籍の違いを乗り越えて友情を育むことは果たして可能だろうかという先入観をいい意味で裏切り、私たちに未来への希望を感じさせてくれる作品です。

まず彼らはフランス語を学びます。会話などの集中トレーニングを受け、やがて通常のクラスに移るために他の教科も学んでいきます。24人の子どもたちには、それぞれのストーリーがあります。家庭の事情のため、辛い母国の生活から逃れるため、亡命のため、あたらしい生活を求めての移民のためなど、彼らがフランスにきた理由は様々です。担任のブリジット・セルヴォニ先生は、さまざまな事情に配慮しながら、生徒ひとり一人に向き合い、彼らが未来をつかむための助言を重ねていきます。

監督は、カンヌ国際映画祭国際批評家週間グランプリに輝いた『やさしい嘘』や『パパの木』などの長編ドラマ映画を手掛けてきたジュリー・ベルトウチェリ。本作は本国フランスにおいて900か所以上で上映され、19万人以上を動員。多くの感動を呼びました。

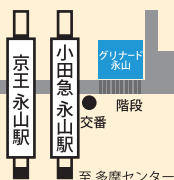


監督：ジュリー・ベルトウチェリ

編集：ジョージアンヌ・ザルドーヤ オリジナル音楽：オリヴィエ・ダヴィオー サウンド：ステファン・ブエ、ベンジャミン・ポペー ミキサー：オリヴィエ・グエナー
制作：Les Films du Poisson, Sampek Productions 共同制作：ARTE France Cinema 配給：ユナイテッドピープル 原題：La Cour de Babel
後援：在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本 公式サイト <http://unitedpeople.jp/babel>



主催：TAMA 映画フォーラム実行委員会
後援：多摩市教育委員会
お問合せ（電話）：080-5450-7204（事務局直通）
042-337-6661（永山公民館代表）
※上映当日は 070-5580-9071（会場）へ



会場：多摩市立永山公民館
ベルブ永山 5F
（東京都多摩市永山1-5）
ベルブホールは [京王相模原線・小田急多摩線]
永山駅から徒歩2分

Twitter で最新情報をフォロー
@tamaeiga

Facebook ページに「いいね」で参加
<http://www.facebook.com/tamaeiga>